

# 質 問 一 般

第192回  
定例会より

## ここが聞きたい 市政をたずねます

12月10日、11日に行われた  
質疑・一般質問には14人の議  
員が演壇に立ち、議案や市政全  
般にわたり活発な質問が展開さ  
れました。  
その一部を紹介します。

### 学 童 保 育

**Q** 近隣市の現況と加西市の方針について。学童保育の早期実施は縦割り行政が弊害となっているのでは。

**A** 近隣市の開設状況であるが、西脇市は公立小学校6校のうち学童保育を実施している小学校が3校、三木市では13校のうち5校、また、小野市では8校のうち6校で学童保育が実施されて

いる。現在、加西市では平成8年度から県の補助を受け富田保育所で学童保育を実施しており、平成14年12月1日現在で12名の児童が利用してい



今後の加西市の方針としては、保護者の強いニーズや少子化問題、男女共同参画社会の実現等を考慮し、平成15年度より富田保育所に加え他の地区でも学童保育を実施する予定である。新規実施にあたり、児童対象年齢については小学校1年生から3年生までの児童を対象とすることを検討しているが、児童の授業終了時間や年齢について幅があるため、実施までに関係部局や保護者と協議を重ね、対象年齢を含め、学童保育の実施内容について市民ニーズに応じていけるように努力する。

ここに注目!!  
学童保育、乳幼児医療、  
米の生産調整etc!!  
詳しく説明してください。



### 乳 幼 児 医 療

**Q** 乳幼児医療費の無料化について加西市の状況は。

**A** 幼児医療費の助成制度は昭和48年にスタートし、本来ならば3割を支払うべき医療費の自己負担分を公費で賄おうという制度である。当市では、昭和63年から県と市が事業費の2分の1ずつを負担しあい、入院は6歳未満児まで、外来は3歳未満児までの自己負担分を無料としていた。所得制限は0歳児にはなく、1歳から6歳未満児には児童手当と同じ所得制限額を使い、市への申請後、所得等の審査を行い、受給者証を交付していた。  
平成13年7月に改正があり、外来については助成対象年齢



を3歳未満児から6歳未満児に引上げられたが、一方これまで無料であった自己負担を、利用者自身が1割支払うことになっている。その改正時に合わせて、市独自の助成として、0歳児の自己負担分を無料としている。3歳未満児の無料化については、少子化対策等を考慮すると現在の経済状況の中で、特に市民ニーズのつよい施策であると考えられる。しかし、加西市の厳しい財政状況を鑑みると、他市と同様に県の実施要綱に則した現状の制度で実施していきたいと考えている。



市長提案説明



NPO

‘Non-profit Organization’の略で、「民間非営利組織」のことです。「非営利」とは、利益を上げてはいけないという意味ではなく、「利益があがっても構成員に分配しないで、団体の活動目的を達成するための費用に充てること」という意味です。